

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター あさしお園		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	121	(回答者数) 88
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医師・看護師が常駐し、医療的ケアや健康に配慮した支援が安心して受けられる	登園日には、医師、看護師と健康状態の確認が行われ、体調などに関する相談がその時にできる	保護者と支援者だけでなく、主治医や訪問看護ステーションや事業所など支援に関わる職種での連携を作っていく
2	保護者からの相談事をしっかりお聞きし個人情報の保持に配慮したうえで、多職種でその対応について検討し共有できていること	相談内容によって保健師、相談支援事業所やデイサービス、保育所幼稚園などと連絡を取り合い対応を検討している	色々な福祉サービスについて、職員全体で理解を深め、保護者からの相談に適切に対応できるようにしていくこと
3	母子通園により、実際的な家族の子育てへの支援ができ、季節ごとの行事を開催し、ご家族で参加し楽しめる機会が多くある	保育や行事で実際の遊びや活動の場面を見たり、一緒に活動を楽しんだりできるように環境設定を行い、助け方の工夫点をお伝えしている	就労などにより、利用日数の少ないご家庭への参加について工夫していく
4	保育士に加え理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の専門職が多く配置され、実際の活動場面で支援に参加している	保育士との連携について役割分担することも、共同でおこなうことも臨機応変に対応している	施設内では多職種で支援内容の検討する機会を増やして、支援の質の向上のため、外部講師からのスーパーバイズを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員が集まって検討しあう時間が確保しにくい	スケジュールが煩雑で、一日に4クラスの運営をしているため職員がそろいにくく話し合いの時間をとりにくい	職員の役割分担と保育計画を明確にし、業務の効率化に向けて考えていく
2	建物や設備が古く段差やレールがあったり、扉が子どもの力で開けられたりする	安全計画の職員への周知が不十分	定期的な点検と職員の中でリスク事案の共有を行い、保護者にも、施設の課題について理解してご対応いただくよう説明する。
3	地域の保育施設や事業所との交流が再開できていない	感染しやすい子どもが多い 交流を検討できる地域の園が見つからない	地域の協議会などを通じて、当園の子どもたちを受け入れ交流できそうな保育施設や事業所を探していき、感染症の少ない時期を検討する